

令和3年度事業報告及び決算報告等について

I 令和3年度事業報告

第1 概 況

本道の酪農・畜産は、近年、経営者の高齢化や後継者不足による農家戸数の減少、労働力不足、進展する国際化への対応、海外悪性伝染病に対する防疫体制の強化、自然災害への備えなどが課題となっている。

令和3年度は、6月から7月にかけて、記録的な高温少雨となり、地域によっては、牧草や飼料用とうもろこしの生育が停滞するなど影響が生じたが、農作物全体としては、総じて良好な年となった。

新型コロナウイルス感染症による畜産物の需要減少や配合飼料等の資材価格の上昇は、酪農・畜産経営に大きな影響をもたらしており、酪農については、乳用牛頭数や1頭当たり乳量の増加などにより、生乳生産量は増加したが、新型コロナウイルス感染症による飲用向需要の減少により、処理不可能乳の発生回避のため、年末から生産抑制の取り組みが進められた。肉用牛については、飼養頭数は増加しており、子牛価格は、前年度に比べ、和牛は上回り、交雑種は下回る水準で推移し、枝肉価格は、全品種で前年度を上回る水準で推移した。

こうした状況の中、本協会としては、本道の酪農・畜産の生産基盤の強化を図るため、経営診断や研修会、各種情報提供等の経営改善指導事業、和牛の産地確立や担い手の育成、和牛ブランドの創出等の畜産生産振興事業、全国和牛能力共進会北海道大会準備事業、肉用牛肥育経営安定交付金の交付等事業、めん羊や和牛の登録推進事業、機械施設リース事業、畜産クラスター関連事業などについて、関係機関・団体と連携を図りながら的確に推進した。

第2 事業の実施状況

1 経営改善指導事業

活力のある安定した畜産経営を育成・確立するため、経営診断の実施、研修会の開催及び各種情報提供等による経営改善指導を行った。

(1) 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会/補助 34,422 千円）

畜産の担い手育成・確保に向けた体制の整備・強化を図り、各般の畜産振興対策の効果的推進に努めた。

(2) 新規就農者定着調査事業（北海道農業公社/委託 1,870 千円）

新たな畜産の担い手や地域の中核となる畜産経営を支援するため、経営診断結果を基に経営改善や生産技術指導と経営管理等総合的な支援を行った。

経営診断・分析支援

15 件

(3) 畜産経営診断指導事業（農協・生産者/792 千円）

畜産経営の各種分析を行い、経営改善のための助言及び指導を行った。

助言指導 8 件

(4) 畜産特別資金推進指導事業（中央畜産会/補助 26,835 千円）

畜産特別資金及び畜産経営維持緊急支援資金の借受者に対する経営改善指導のため、関係機関団体と連携して、本協会が独自に開発した酪農経営支援システム等を活用し、借受者に対する計画作成指導、計画達成指導を実施した。また、融資機関等の指導体制確立のための支援指導を行った。

① 都道府県支援協議会の開催

- ・協議会活動の企画・調整等 7 回
- ・経営事例調査 90 件

② 融資機関への指導・助言

- ・研修会等 6 回（札幌市、名寄市、足寄町、北見市）

③ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導

- ・計画作成指導等 91 件
- ・濃密指導（月次モニタリング） 7 農協・14 件
- ・酪農経営支援システム活用状況 3 農協・分析 62 件

(5) 畜産関係団体調整機能強化事業：相談窓口（中央畜産会/委託 1,611 千円）

飼養管理上の課題を抱える畜産経営に対し、現地において助言・指導等を行った。

研修会等 4 回（帯広市、北見市、旭川市、千歳市）

2 畜産生産振興事業

畜産の生産振興及び生産基盤の強化に資するため、次の事業を行った。

(1) 強い農業づくり事業：和牛生産基盤振興

（北海道・ホクレン農協連・ジェネティクス北海道/補助他 28,687 千円）

北海道和牛の産地ブランド確立のため、生産者をはじめ、関係機関・団体が一体となり、優良繁殖雌牛の選抜・保留や次世代種雄牛の造成、道内肥育の推進など、北海道和牛の生産基盤強化を図る取組みに対し支援を行った。

① 道産種雄牛を活用した和牛生産基盤強化対策

- ・ゲノム育種価評価 451 頭 17 集団 11,250 円/頭
- ・現地検討会 1 回

② 育種改良組織等の活動強化

- ・ゲノム育種価評価 71 頭 1 集団 11,250 円/頭
- ・現地検討会 1 回

③ 高能力繁殖雌牛活用推進 172 頭

- ・育種牛認定 26 頭 100,000 円/頭

④ 新規種雄牛早期市場評価推進対策 39 頭 30,000 円/頭

⑤ 道内肥育推進対策

- ・道内出荷流通拡大奨励 240 頭 50,000 円/頭
- ・道内と畜増頭奨励 78 頭 50,000 円/頭

⑥ 早期肥育出荷技術モデル実証 3 戸 16 頭 150,000 円/頭

⑦ 枝肉改良共同研究

- ・枝肉横断面における脂肪交雑形状の指標評価・活用法の開発 帯広畜産大学
- ・黒毛和種肥育牛の早期出荷に適した育種価評価法と育成・肥育技術 畜産試験場

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構/補助 76,525 千円）

① 肉用牛生産基盤強化対策

生産者集団等が行う生産基盤強化に資する取組みに対し支援を行った。

- ・繁殖雌牛の増頭に対する助成
育種価等要件達成 319 頭 80 千円・100 千円/頭
- ・肉用牛ヘルパー活動に対する助成（1/2 以内） 10 利用組合
- ・簡易牛舎の整備に対する助成（1/2 以内） 10 団体

② 地域の特色ある肉用牛振興対策

生産者集団等が行う地方特定品種の生産基盤の維持強化への取組みに対し支援を行った。

- ・褐毛和種の肥育牛計画出荷に対する助成 164 頭 465 円/日・頭
- ・離島子牛の島外家畜市場出荷に対する助成 79 頭 5,600 円/頭
- ・日本短角種経営の自給飼料生産資材等に対する助成 1 生産者集団

(3) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業：生産基盤拡大加速化

（全国肉用牛振興基金協会/委託 4,435 千円）

畜産クラスター計画に基づき、優良な和牛繁殖雌牛を増頭した生産者に対して奨励金を交付する事業の推進業務を行った。

取組主体 62 農協等 補助金額 361,787 千円

(4) 肉用牛経営災害緊急支援対策事業（農畜産業振興機構/補助 46,311 千円）

令和 2 年 12 月から令和 3 年 3 月までの大雪災害に係る被災畜産関連施設の補改修や停電時に家畜の生命維持に必要な機械を稼働させるための非常用電源の整備について支援を行った。

大雪被害による施設の補改修 8 団体・9 経営体
非常用電源の整備 10 団体

(5) 畜産・酪農生産力強化対策事業：A I ・ E T（中央酪農会議/委託 6,177 千円）

優良な乳用種後継牛の確保により、畜産・酪農生産基盤を強化する事業の推進業務を行った。

事務取扱 83 農協 補助金額 541,455 千円

(6) 和牛遺伝資源流出防止対策緊急支援事業：E T（中央酪農会議/委託 4,823 千円）

和牛遺伝資源の海外への流出防止に資する体制を構築し、和牛受精卵を利用するための取組を支援することにより肉用牛生産の持続的な発展を図る事業の推進業務を行った。

事務取扱 80 農協 補助金額 491,955 千円

(7) 肉牛改良推進事業

和牛改良を推進するため、道内の黒毛和種のデータを分析し、育種改良及び繁殖管理の改善を目的とした指導及び情報提供のほか、道内で収集された枝肉情報と全国枝肉データベース事業による枝肉情報を用いて育種価を算定し、繁殖成績における分娩間隔の育種価と併せて、関係団体及び生産者への情報提供を行った。

また、優良な家畜の展示評価並びに肉牛の枝肉展示評価を通じて、飼養管理技術や改良増殖技術の向上を図るため、共進会・共励会の後援や協賛を行うとともに、本道の特色ある雌牛集団の形成や改良に対する普及啓発を行った。

① 肉牛改良推進のための研修会等の開催

・和牛技術研修会 巡回指導 5回

② 家畜生体肉質装置を用いた肉質診断の技術向上 1回

③ 家畜共進会、肉牛枝肉共励会の審査・後援・協賛等 8回

④ 他団体主催各種調査立会

・全国和牛登録協会 産肉能力検定(直接検定 開始・終了) 2回

・家畜改良事業団 種雄牛枝肉調査(現場後代検定 前期・後期) 9回

・ジェネティクス北海道 種雄牛産子調査(現場後代検定) 2回

⑤ 和牛経営定点調査 17戸

⑥ 和牛育種事業強化支援対策

・びらとり和牛育種組合 ・十勝和牛育種推進部会

⑦ 協会のホームページによる肉牛改良情報の提供 アクセス件数 17,857件

(8) 道産牛肉生産強化事業(北海道/補助682千円)

和牛生産の担い手や地域のリーダーの育成を目的として、飼養技術や審査技術に関する研修会を実施した。

研修会開催 3回

(9) 北海道和牛ブランド創出推進事業(北海道/補助511千円)

北海道産和牛の統一ブランド銘柄を創出し、道内外での認知度向上を図るため、関係者による検討会を開催した。

ブランド懇話会世話人会開催 3回

(10) 第12回全国和牛能力共進会事業

令和4年10月に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会において、日頃の改良の成果を展示し、北海道の種牛や肉牛を全国にPRするとともに、道内の飼養管理技術の向上や肉牛の生産基盤の強化を図るための取り組みを行った。

・肉牛の部 選抜巡回の実施 2回

・種牛の部 候補牛選抜の実施 3回

(11) 第13回全国和牛能力共進会準備事業

第13回全国和牛能力共進会北海道大会開催における基本構想の策定を幹事団体と検討するなど開催に係る業務を実施した。

準備委員会の開催 2回

【準備委員会】北海道ほか29団体（うち幹事14団体、事務局4団体）

(12) 強い農業づくり事業：めん羊振興（北海道/補助100千円）

優良な系統の普及啓発を推進するとともに、めん羊の飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、研修会を開催した。

研修会開催 1回（札幌市）

(13) めん羊登録改良事業（生産者/1,797千円）

めん羊の血統登録を実施し、品種の証明及び育種改良を推進するとともに、出生確認証明を発行することにより個体識別を促進し、円滑な改良・増殖を推進した。

[登録・証明件数] (単位：件・%)

区 分	登 録		証 明
	血 統	予 備	出 生
件 数	562	125	1,630
前年度対比	91.1	84.5	91.2

(14) 酪農畜産関係組織の事務局の運営

生産振興・消費拡大・ブランド化の推進等のため、畜産生産者等が組織した各種協議会の事務局を担当し、生産者の支援を行った。

① 北海道和牛振興協議会

黒毛和種の生産者で構成され、和牛の改良増殖、生産基盤の充実と経営安定に資する各種の活動を行った。

② 北海道和牛生産戦略会議

本道における和牛の産地形成の確立と生産振興の効果的な推進を図るため、道内関係者と連携を図りながら和牛振興への取組みを行った。

③ 北海道肉用牛生産者協議会

肉牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、肉牛の振興に資する各種の活動を行った。

④ 北海道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会

道内の肉牛生産者自らが取組む道産牛肉消費拡大事業に、関係機関と連携し積極的に支援を行った。

⑤ 北海道あか牛振興協議会

あか牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道におけるあか牛の生産振興に資する取組みを行った。

⑥ 北海道短角牛振興協議会

日本短角種を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道における日本短角種の

生産振興に資する取組みを行った。

⑦ 北海道めん羊協議会

めん羊を飼養する者、賛同する個人で構成され、北海道におけるめん羊の生産振興に資する取組みを行った。

⑧ 北海道指定種豚場協議会（令和3年12月解散）

⑨ 北海道養鶏会議

鶏を飼養する者、賛同する企業及び団体等で構成され、北海道における養鶏の生産振興に資する取組みを行った。

⑩ 北海道畜産技術連盟

道内の関係機関・団体と連携を図りながら、畜産技術の普及啓発のために畜産関係新技術情報冊子作成などの取組みを行った。

⑪ 北海道地方公営競馬振興協議会

地方競馬主催者と連携を取りながら、地方競馬と馬事畜産の振興及び普及啓発を図るための支援を行った。

⑫ 北海道自給飼料改善協議会

自給飼料の確保に向けた研修会の開催等を検討した。

⑬ 第13回全国和牛能力共進会北海道準備委員会

令和9年に開催予定の第13回全国和牛能力共進会北海道大会の開催に係る準備活動を行った。

3 補填金交付等事業

肉用牛肥育経営の安定を図るため、次の事業を行った。

肉用牛肥育経営安定交付金：牛マルキン（農畜産業振興機構/委託他 104,872千円）

肥育牛契約生産者の負担金により基金を造成し、牛枝肉価格等の変動によって肥育牛経営の収支が悪化した時に粗収益と生産費の差額に対して、農畜産業振興機構からの交付金と併せて補填を行った。

令和2年4月以降、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済対策により猶予されていた生産者の負担金納付は、令和3年6月より再開された。

(1) 積立金造成及び交付金交付状況

① 生産者負担金単価

(単位：円)

品種区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
肉専用種	16,000	16,000	71,000	5,000
交雑種	17,000	17,000	20,000	13,000
乳用種	19,000	19,000	19,000	11,000

② 交付金単価〔令和3年4月～令和4年3月販売分〕

(単位：円)

品種区分	販売年月 (交付は販売の翌々月)					
	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9
肉専用種	—	18,814	34,965	3,860	65,304	31,313
交雑種	—	—	26,485	40,140	61,515	20,589
乳用種	35,362	21,505	29,786	33,510	29,024	35,327

品種区分	販売年月 (交付は販売の翌々月)					
	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3
肉専用種	—	—	—	—	—	—
交雑種	17,713	—	—	—	12,519	—
乳用種	22,146	33,033	40,420	50,295	51,054	50,246

③ 交付金交付実績

(単位：頭・円)

品種区分	対象頭数	交付金額		計
		負担金	交付金	
肉専用種	17,081	132,277,497	396,831,289	529,108,786
交雑種	29,834	287,033,276	861,098,698	1,148,131,974
乳用種	100,930	907,329,962	2,721,987,930	3,629,317,892
合計	147,845	1,326,640,735	3,979,917,917	5,306,558,652

④ 基金管理実績

(単位：円)

品種区分	期首残高	期中		期末残高
		増加	減少	
肉専用種	162,008,756	247,416,359	132,277,497	277,147,618
交雑種	579,179,596	810,198,773	287,033,276	1,102,345,093
乳用種	1,120,628,506	1,358,475,115	907,329,962	1,571,773,659
合計	1,861,816,858	2,416,090,247	1,326,640,735	2,951,266,370

(2) 緊急支援金返還状況

平成 23 年度において肉用牛肥育生産者に交付した緊急支援金の返還に関する業務を行った。
なお、今年度で回収不能額を除き全額返還された。

[返還実績] (単位：戸・千円・%)

区 分	令和 4 年 3 月 31 日	
	戸 数	金 額
交付金額 A	322	9,320,300
全額返還 B	321	9,295,912
一部返還 C	0	0
返還額合計 D = B+C	—	9,295,912
回収不能額 E ※	1	24,388
未返還額 A-D-E	0	0
返還率 (D+E)/A	100.0	

※ 自己破産した対象者の未返還金残高

4 普及啓発推進事業

消費者の畜産に対する理解の促進や畜産物の消費拡大を図るため、PR活動を行った。

(1) 畜産関係団体調整機能強化事業：地方競馬（中央畜産会/委託 500 千円）

地方競馬の振興に資するため、本協会や北海道地方公営競馬振興協議会が主催する競馬ファン対策イベントに対する支援を行った。

イベント支援 2回（帯広市）

(2) JBC競走運営サポート事業（馬事畜産振興協議会/委託 440 千円）

門別競馬場において、馬事畜産振興協議会が主催するイベントに対する支援を行った。

イベント支援 1回（日高町）

5 肉牛登録推進事業

子牛登記・登録を実施することにより、正確な血統を証明し、品種としての信頼性の向上を図るとともに、地域和牛集団の確立を推進した。

また、生産者の登録審査の意義に対する理解を深め、生産基盤の充実強化を図るため、地域技術員の審査技術の指導を行った。

〔登記・登録件数〕

(単位：件・%)

区 分		子牛登記	登 録
黒毛和種	件 数	76,180	10,141
	前年度対比	100.2	92.9
褐毛和種	件 数	434	51
	前年度対比	89.9	52.6
日本短角種	件 数	266	86
	前年度対比	231.3	204.8
外国種	件 数	52	26
	前年度対比	98.1	185.7

〔登録審査員の養成及び技術向上〕

登録窓口別審査研修及び子牛検査委員資格認定研修会 3回(帯広市他)

6 機械施設リース事業

酪農畜産経営の体質強化に資するため、施設・機械の借受、貸付を実施するとともに施設の有効利用を促進するための指導を行った。

〔取扱実績〕

(単位：台・千円・%)

区 分		台 数	金 額	前年度対比 (金額)
協会有リース	・新品バルククーラー他	10	35,786	47.4
畜産近代化リース	・自給飼料生産利用機械施設 ・生乳生産合理化施設 ・畜産環境改善機械施設	16	81,010	45.8
畜産環境整備機構	・経営リース ・調査リース	5	11,647	21.6
合 計		31	128,443	42.0

7 受託事業等

関係機関・団体からの受託等により、畜産に係る調査業務等を行った。

(1) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業：機械導入（中央畜産会/補助 43,423 千円）

畜産クラスター計画に基づき、地域の関係者が連携して地域全体の収益力向上を図るため、畜産経営体がコスト削減や収益力向上等に資する機械を導入する事業を行った。

配分件数 90 協議会 補助金額 9,509,641 千円

(2) 畜産経営体生産性向上対策事業：畜産 I C T（中央畜産会/委託 2,420 千円）

酪農経営や畜産経営の労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入を支援する事業の推進業務を行った。

配分件数 39 会議 補助金額 361,388 千円

(3) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業：楽酪 G O（中央畜産会/委託 12,709 千円）

酪農経営における労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入及びそれと一体的な施設の整備等を支援する事業の推進業務を行った。

配分件数 26 会議 補助金額 1,157,185 千円

(4) クラスター全国実態調査事業（中央畜産会/委託 4,000 千円）

畜産クラスターに係る取組みを全国で推進するため、先進的な経営等を対象に経営調査を行った。

調査件数 40 件

(5) クラスター協議会優良事例調査事業（中央畜産会/委託 250 千円）

機械導入事業、施設整備事業、実証支援事業に取組んだ協議会を事例として、協議会の設立・取組み経緯や課題、解決策等について調査を行った。

調査 1 協議会

(6) クラスター改善効果事業（中央畜産会/委託 450 千円）

畜産クラスター事業を活用して機械導入及び施設整備を行った経営体を対象に、その効果に関する調査を行った。

調査件数 3 件

(7) 課題解決サポート調査事業（中央畜産会/委託 3,531 千円）

日本政策金融公庫による農家への資金融資等に係る農家の経営計画作成、経営課題の把握や解決策の提案などを行った。

実施件数 28 件

(8) 軽種馬経営実態調査事業（中央畜産会/委託 2,140 千円）

軽種馬の生産振興に資するため、軽種馬経営における販売産駒 1 頭当たりの生産費用等の調査を行った。

調査件数 16 件

(9) 畜産・酪農生産力強化対策事業：生産性向上対策（中央畜産会/委託 3,404 千円）

家畜の生産力を最大限に発揮させるため、家畜生産性に係るデータの収集及び畜産経営体の技術成績における課題改善指導を行った。

酪農 25 件 肉用牛 15 件

(10) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業：肥育生産支援（中央畜産会/委託 13,700 千円）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による畜産農家の経営悪化が懸念されるため、経営体質強化の取組みを図る肥育農家に対し、1頭当たり 2 万円を交付する事業の推進業務を行った。

奨励金交付状況〔令和 3 年 1 月 1 日～5 月 31 日販売分〕（単位：頭・千円）

品種区分	対象頭数	交付金額
肉専用種	14,173	283,460
交雑種	20,411	408,220
乳用種	48,286	965,720
合計	82,870	1,657,400

(11) 畜産動産担保融資活用支援事業（中央畜産会/委託 518 千円）

民間金融機関に畜産 A B L の融資状況等の調査を行うとともに、民間金融機関の融資を受けた畜産 A B L 利用者に経営規模及び利用の契機等についての調査を行った。

調査 5 件（金融機関 2 件・利用者 3 件）

(12) 動産担保融資支援事業（日本政策金融公庫・生産者/委託他 10,120 千円）

日本政策金融公庫等金融機関、十勝畜産農業協同組合等と締結した「A B L 協定」に基づき、肉用牛及び乳用牛の動産を担保に金融機関から運転資金の融資を受けた農家について、飼養牛のモニタリングを行った。

モニタリング 16 件

(13) 地域連携支援事業（日本政策金融公庫/委託 350 千円）

公庫資金が地域の実態に応じて総合的かつ計画的に活用されるよう、地域農業の実態把握と課題解決に向けた研修会を開催した。

研修会等の開催 5 回

(14) スマート農業加速化実証プロジェクト事業（農業・食品産業技術研究機構/委託 2,850 千円）

肥育経営への動産担保融資等の導入促進に資するため、生体センシング等の I o T を活用した低コスト個体モニタリング手法の実証を行った。

(15) 草地難防除雑草駆除技術実証事業：R2 補正（日本草地畜産種子協会/委託 5,787 千円）

R3 補正（ // /委託 476 千円）

自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営の実現を図るため、難防除雑草の繁茂した生産性の低い草地から高位生産草地への転換を進める事業の推進指導を行った。

事務取扱 〔R2 年度補正分〕 51 地区 〔R3 年度補正分〕 45 地区

(16) 畜産近代化リース貸付指導等事業（畜産近代化リース協会/委託 3,187 千円）

畜産近代化リース事業による貸付機械の適切な管理を図るため、現地調査指導を行った。
また、農協等に対し同事業の新規開拓を図るため、普及啓発資料を作成し配布した。

調査指導	84 基
普及啓発資料送付	38 農協等

(17) 地域経済状況調査事業（北海道農業公社/委託 9,625 千円）

酪農経営等の経済状況等の調査を行い、地域・規模別の経営類型資料を作成した。

調査地域	11 地域
------	-------

(18) 酪農における省力化機械導入効果調査事業（北海道/委託 2,103 千円）

酪農経営における省力化機械導入の効果を検証するため、導入された機械の活用方法等を調査し、その効果を取りまとめた。

調査件数	16 件
------	------

8 北農ビル管理運営事業

北農ビルの一部所有者として、北農ビルの管理運営を行った。

第3 会議等の開催

1 総 会

令和3年度 通常総会 — 原案どおり議決 — 令和3年6月24日

〔議 事〕

議案第1号 令和2年度事業報告及び決算報告等について

議案第2号 令和3年度役員報酬について

議案第3号 令和3年度会費負担額及び納入について

議案第4号 役員の変更について

報告事項 令和3年度事業計画及び収支予算について

2 理 事 会 議決事項及び報告事項

〔第1回〕 — 原案どおり議決 — 令和3年6月9日

① 令和3年度通常総会付議事項について

② 令和3年度通常総会の開催について

③ 肉用牛肥育経営安定制度業務規程の一部改正について

〔第2回〕 — 互選により選任 — 令和3年6月24日

役付理事の互選について

〔第3回〕 令和3年11月24日

報告事項 ① 令和3年度事業の実施状況等について〔4月～10月〕

② 理事の辞任について

〔第4回〕（書面） — 原案どおり議決 — 令和4年2月24日

肉用牛肥育経営安定交付金制度の積立金管理者の指定申請について

〔第5回〕 — 原案どおり議決 — 令和4年3月28日

① 令和4年度事業計画及び収支予算について

② 肉用牛肥育経営安定制度業務規程の改正について

③ 諸規程の改正について

3 専門委員会

家畜登録改良事業 和牛登録専門委員会（書面） 令和4年3月25日

① （公社）全国和牛登録協会通常総会報告について

② （一社）北海道酪農畜産協会登録事業について

③ 第13回全国和牛能力共進会北海道大会開催について

家畜登録改良事業 和牛改良専門委員会 令和4年3月1日

① 北海道の和牛の現状と方向性

② 北海道和牛改良推進目標の考え方

③ 北海道推奨種雄牛について

④ 全国和牛能力共進会について

4 監 査

[監事監査]

令和 3 年 6 月 1 日

令和3年度監事監査（令和2年度決算分）

[内部監査]

① 第1回 総務部

令和 3 年 8月25日、26日

② 第2回 経営支援部

令和 3 年11月25日、26日

③ 第3回 事業推進部

令和 4 年 2月16日、17日

第4 会員及び役職員数

[会 員]

項 目	2年度 期 末	3年度		3年度 期 末
		増	減	
会 員	206	—	—	206
団 体	54	—	—	54
農 協	83	—	—	83
市町村	69	—	—	69

[役職員]

項 目	2年度 期 末	3年度		3年度 期 末	摘 要
		増	減		
役 員	12	—	1	11	うち常勤理事1名
理 事	10	—	1	9	
監 事	2	—	—	2	
職 員	43	5	2	46	

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。